



学校だより 自ら学ぶ心を

笠間中学校

<http://www.ed.city.kasama.ibaraki.jp/jh-kasama/>

か：活気にあふれ
さ：さわやかで
ま：まとまりのある学校

第 11 号

2025 年 10 月 9 日

笠間市立笠間中学校

TEL 0296-72-0120

笠間中キャラクター「笠チュウ」が笠間小であいさつ運動：生徒会



今年度、学校の中心となって支えてきた生徒会が密かに進めてきた「笠チュウ着ぐるみ」制作。

完成記念に生徒会役員と一緒に笠間小を訪れ、あいさつ運動を行いました。突然の来校に驚いた様子でしたが、児童のみなさんは明るい笑顔で歓迎してくれました。次回、訪問できる日が待ち遠しいです。



加藤校長先生に協力依頼 SDGs ペットボトルキャップ回収

あいさつ運動に合わせて、笠間小加藤校長先生に、三村会長がボトルキャップ回収の協力を依頼しました。

それを受け、小学6年生に回収の目的や利用についてプレゼンする機会をいただきました。小中相互に働きかけ合いながら、より深い交流・連携が図れるように進めてまいります。

笑顔いっぱい笠チュウと記念撮影



毎年、11月の教育月間に合わせて小中合同のあいさつ運動を実施しています。見慣れた顔に出会える機会を楽しみにしているのは、きっと中学生だけではないと思います。小中連携の新たなシンボルとして、笠チュウの活躍がとてもしみです。

ボランティア活動「読み聞かせ」体験：福祉委員会

福祉委員会が「児童クラブ読み聞かせボランティア」を実施しました。体験活動として訪問させていただいたのは、「笠間小学校児童クラブ」と「かさまキッズクラブネリネ」の2施設です。

中学校の委員会活動として読み聞かせ活動を行うのは初の試みでした。グループごとに読む本を決め、たくさん練習を重ねてきました。読んでもらえる小学生は興味津々、反対に、読み手の中学生は緊張感たっぷり。



「あいさつ運動」とは違った交流の場となった今回の試み。相手の事を思いやり、「少しでも喜んでもらうためには…」と考え意見を出し合う活動、実際に反応を目の当たりにし喜んでる姿を体感できた体験活動。

相手に喜んでもらえることが自分にとっての喜び、うれしいと感じられる体験をこれからも続けていきたいと思ひます。用意していたゲームを通して、心の距離もさらに縮めることができました。笑顔満開です。

